

事務事業名		バイオマス利活用推進事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	環境課
	政策	04	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	係	環境係・衛生係
	施策	02	資源循環の推進	内線電話	247・245
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	4款	衛生費	未計上	
	項	2項	清掃費	実施期間	
	目	2目	ごみ処理費	平成21年度～	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	剪定枝排出者及び剪定枝バイオマス利活用者	排出者から剪定枝を回収し、チップを作成し、バイオマス利活用者へ配布する。	
	生ごみ堆肥化機器設置者	生ごみ堆肥化機器等設置者を増やす。	
現状・課題	平成22年9月に中野市バイオマス計画の一環として、樹木粉碎機を購入した。		
市が行う理由及びその根拠	その他	中野市バイオマスタウン構想	
事務事業概要	生ごみ堆肥化機器等購入費に対し、補助金を交付する。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	剪定枝の回収		年9回
	生ごみ堆肥化機器等購入費助成金		40基

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	1,089,000	1,059,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	1,089,000	1,059,000	1,150,000	
決算（見込）額 A			円	601,987	1,059,000	—
財源内訳	国庫支出金		円			
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円			
R2は予算額	一般財源		円	601,987	1,059,000	1,150,000
正規職員数			人	0.64	0.73	0.75
人件費 B			円	4,117,760	4,702,660	4,831,500
総事業費 A+B			円	4,719,747	5,761,660	5,981,500
市民1人当たりコスト			円	110	135	141

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
剪定枝回収量		増加	目標	20	t	20	t	20	t
			成果	16	t		t	—	
生ごみ堆肥化機器等購入費助成金		増加	目標		基		基	40	基
			成果		基		基	—	
成果指標と目標値を設定した理由	バイオマスタウン構想の目的達成のため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	広報の強化を行っていく。						

